

P 3.61.

67/14
C.

俸給其の如く御清勝に後廢其の至りに不堪矣

隨着貴下御参考を爲別紙軍人扶助料請求に就ての注意書同封申上矣に自万一本會々員より右手續に關し質問等有之云々

御説明を事の成尚詳細に亘る法規其他は社會部（三一九一A）にて説明ある筈に自右申上へ置き矣

御承知の如く近々海外出征の軍人の數も増加し來り返つて將來色々の

事故も之に所隨し來る事と存ぜられ矣に鑑み本會々事務所を

來る五月二十九日（^行政）内郵便局ビルディング内に移し執務仕り會員諸氏の

御便宜を計る事と相成矣に自右會々員に御傳達と申す交矣

近々會々族の吉兆が御元氣に相成矣が御一紙煩し交矣

右貴下御多用中をもち先ず御面倒に義御願ひ申上候敬矣

千九百四十四年五月二十五日

ミニドカ米國軍人父母會

デロン、エス・マイアー氏演説筆記

○スタッフオード氏が時間のお填合せをなうて
下やうで難存存です。急に退出を余儀なく
せられまして失礼に存じます。矢張り長距離
電流で、人が死なうやうなことはなかり、
早速の処置を要するでございませう。そこで、
スタッフオード氏が私に代り時間を塞いで
下さうて、仕合せに存じます。時間を縮め
て頂くうてはなうで、場合に依り、次の時
間に延びますとも構ひません。

○私の演説をまたまた参うたのではなく、當
時その轉位に因りて如何なる問題に直面し

#2.

くをまわらうや、その中より居住者たる諸君の
ご意見を承り、知識を深めたいと参りたて
ていさいます。本會員中には、転住に興味を有す
る方は、それなりのことなう人も、會員も亦事
転住なうでさう、これ回転的の事柄な
でございします。次回には、外部で、又外の社会
でお目にかいませう。これ一かい冗談に又一
は直ぐ面目に申すので、それは、皆様がお出
しになうて、お仕事をなさることも、お出来に
なうから、いさいます。極く簡単に申し上げ
げますと、私の轉住事務の発展を計ることを
欲するもので、スタッフオード氏がお添いにな

#3

つたのといふ違つて、一年に析つて、社会が
良くなりやう。

○事實より觀察致し、まこと、ワシントン、アレ
ゴニ、カリフォルニア三州以外の合衆國民衆
中に、いゝニドカに居る者皆様と知れるもの
甚だしく、一般的に申すと、人は知る
ぬ他人も居る。もうでも。これがWRAに二
種の仕事を與へてゐる。即ち、うにい、合
衆國民が諸君を知りませぬ故、日系米人の
集團を彼等に紹介して、意を疎通と
計りぬばかりませぬ。ていたが、これいかなう
進んで出来やうか。ヤクに、ういぬ其の間

是は、外部の住民の皆様に對して敵意を
有せぬことを皆様に心得願ふことであり
まゝ。沿岸より外へ地を住みこむなす多
数の撤退者が、見知りぬ地方に移り行くに、
容易の業に非ざること、私共が認む所であり
いふまでも、然れども、一度開拓者たり人々ば、
再びいふも又いふにても、矢張り開拓者た
ることを憂ふものに非ざることと豫期しやいふ
ことあり。此の事を成し遂ぐに、今
の困難に伴はんと存じまゝ。私共は、暫
く第一階段に入りつゝあるであらうが、本
暦年の初頃より、既に自主自治の齡に

達一なる二世の転住に、一ケ年の大成功を収め
ずたが、その内の五割は十八歳十九歳或はそれ以
上に、期節的又は無期限出所でありました。
今までの出所者の總て一万五千人に、その内の
八割五歩は二世でありました。出所者の大部分
は好都合で、長幼を含む家族もまた周圍
との折合まで、皆一家團樂とよく暮らして
います。住宅を揃えうが一番困る事柄であ
るが、係一余一増築が行ばれない、この同
題に總ての人が可なり困窮を感じて
います。之を解決するには、家も建て、焚く
暖はならず、又距離も余り遠くていいけ

6

ません。実際に努力すればいい道り開かれます。

○是に私の甚だ懸念する事柄ですが、周
圍より折合いが来ても困難な事だ、急に豫
期した程の困難な事なう、亦時
に災が来ると轉ぜーこともあり例へば、
私の旅行中、カンサス市にて二種の手事
件起りましたが、その轉任事務の援助となつ
たのです。そう一つは、一群の人々が嘆願書と
携へて市会に出頭し、よく訴ふる所あるん
ど、それが市会議員の大層寛大で、そ
の嘆願を起し又それを認り人を採求し

うたけれども、誰人も責任を帯びるものがあ
りませんで、その嘆願の水泡に帰して
みでなく、却て反山の友を得ました。

○又その次の月曜日に、カンザス州カンザス市の
豊務課長が、七歳の一幼年の登校を差
止めました。その旅行中、これが新聞の大同
題で、この幼年の寫も掲げられました。

その父は牧師で、母は米國市民でした。この度
もまた新聞紙の、この件を捕つて豊務課
課長が張の目をつけて、著しく筆を弄
しました。氣味毒な事には、豊務課長の
この得所なきみならず、状態は却て奴隷

#8

しよつた。

○今後も時々は斯の如き事件もございませうが、適当の方法を講ずるに於て、い、良結果と齎すものと私に申し上げたい。その之に即ち却て多く了解を得るからであります。そこで私に若干の出来事に對し、その事實を輕視するものではないや、だが外部の狀態は豫期以上に宜しいをいいます。

○家族を導き、轉位し得るやうの運びをたし、又外部に於て再び兒女達と同居せんとする若千の老年輩を援助し得ることか次の重大問題であります。新しい生活

#9

を頂戴しております。即ち、皆様の之について何
をなされつつあるか、如何なる過失があり
か、転任官廳、官舎転任所、現地転任
事務官が如何なることをやり得るや、など
にうつして。

○着席致す前に只一言申上げて置きたい
のい、WRAが致す一番簡単な方法はい、転
任を全廃し、たゞ收容所と經營すること
かうですが、しかし是は收容所没する新案
にも用が、又撤退者のために国家にも
良法とい考へられませんか。若し人々が転任を
欲せぬことを証明せられまうなら、私共は

#18

之を調査して方策も換へねばなりません。
係一初う最も欣快とする所、最後の時の
の到来と共に、軒官官所の最終のもの
を閉鎖することとなりますが、是は不可能事と
存ぜられます。私共が重宝とする仕事を終へ
まわれ、苗汁の居住者もその残務につい
ては協力下さるでせう。こう仕事は了解
と好意を本としてなされます。私共即ち
WPAのしるしをかり得ないといふ、それは
撤退者自らなす仕事です。撤退者のよう
に客所を眼中に置いて之をなさうねば
なりません。こうは事の一部のみ、撤退者

ご自身でなさうて頂くので、即ち、了解
を得、人々に真相を教へ、轉任の出来た方を
を講ずるうです。此の官舎所かりは、既に
に二十人以上が無期限に出計し、又相違
多数が期的に出計するまゝで、その
成績の宜しきに、新しい同意申し上り
ます。來年ではなく、来月に、この教
を二倍にすること、が来るやうにと祈うて
あります。

有り難うなします。

社会の建設、春風、昭然、
一家團樂、敬老の念おつ
かゝる、美をせらるる善良な
家庭を営むも、何れも所
内、一、在任同胞の一致協
力、子女を思ふ、誠心、訴へ
る、は、容易に成し遂げら
れることである、善良なる
家庭、清浄なる社会、その
裡に、多かれ少かれ、子
女、將來は、善良なる市
民としての幸福ある所
に、待ち構へてゐる
成人教育部は、思をこ
こに至し、中小子の三
校当局と相計つて、敬
老の美德を、通、所内に
押し、ひらね、爲、今回特
に、敬老会を、開催した
次第である、(中河生)

GUESTS:

88 Risuke Arai, 86 Iso Hirayama, 85 Umejiro Miura, Fusa Yorozu,
82 Ishi Uehara, Tsuchi Sakamoto, 81 Osamu Sakamoto, 80 Kihachi Hira-
kawa, Tsunegoro Sakai, 79 Ushigoro Ota, Hatsutarō Sumioka, Saroku
Dochin, Seigoro Kono, 77 Shintaro Takagi, Zennoshin Fujioka, Shima
Yoshida, 76 Hyotaro Koresawa, Ikuzo Shikaku, Kametaro Ito, 75 Minosu-
ke Yorita, Tomegoro Yamane, Tetsuzo Haginaka, Eisuke Hirama, Katsu-
taro Yamashita, Hisakichi Shiosaki, Kinya Okajima, Tama Morita,
74 Koma Minami, Sahei Watanabe, Jutaro Kasa, Fusakichi Sagami, Fumi-
toshi Yamaguchi, Jutaro Saka, Hiroshi Ihashi, Tojiro Yoshida, Ume
Saka, 73 Yasu Maniwa, Komataro Kondo, Zennosuke Hojo, Yonezo Mizogu-
chi, Manzo Ito, Kumajiro Ishino, Kumakichi Yoshida, Tanejiro Shira-
mizu, Ihachi Masuda, Zenkichi Nakane, 72 Kino Nakamura, Yasuji Yoshi-
da, Sakichi Sumioka, Kohei Kofuji, Tsunekichi Makino, Kenjiro Hattori,
Momi Doi, Joe Yataro, Masakichi Hashimoto, Take Yoshida, Kisaburo
Shoji, Chogoro Shimono, Ichimatsu Yasumura, Hitsuji Beppu, Tamejiro
Watanabe, Taka Kadoshima, Ritara Hamada, 71 Ishitaro Ebira, Kisuke
Kihana, Toyoshiro Imada, Sadao Mizuno, Shizue Ikebe, Tomegoro Oya,
Tetsuji Okawa, Eizo Mayeda, Josuke Saito, Shusaku Hirose, Yae Kawa-
moto, Sue Chigusa, Tokumatsu Hashimoto, 70 Take Wilson, Otojiro Shoji,
Mohei Nakamura, Iwakichi Matsui, Inakichi Kojima, Heitaro Hamaguchi,
Toyojiro Yamada, Heisuke Ohashi, Yozo Hokari, Hisakichi Shigyo, Kame-
taro Koyama, Utaro Sugihara, Shotaro Nakata, Sajiyo Shimooka, Katsuzo
Ikata, Takejiro Shikaku, Shinkichi Okamoto, Fukutaro Tsuchida, Yoshi-
kazu Noritake, Tatsukichi Tsuchida, Tsurukichi Ninomiya, Hisashi Oka-
moto, Kaoru Maki, Kisa Umino, Kumataro Nishikawa, M. Nakagawa, Kitara
Oki, Genjiro Miyoshi, Tsuchizo Tomota, Ippei Takechi, Ichimatsu Kawa-
guchi, Seiji Kamei, Kin Teramae, Mamie Tamura.

来賓氏名

八十八才 有井利助
八十六才 平山いさ
三浦松次郎
八十二才 上原いし
八十一才 坂本修
八十一才 坂本つち
平川森八
七十九才 大田丑太郎
初太郎
堂珍佐六
七十六才 藤田善三郎
七十六才 是次兵次郎
幾花 伊藤竜太郎
七十五才 高田美之介
秋井鉄光
勝太郎
國島金次郎
七十四才 南三郎
七十三才 相模彦吉
文敏 坂本太郎
吉田治郎
七十三才 上原いし
七十三才 北条善三郎
伊藤万寿
吉田熊吉
吉田八郎
きの、吉田安次

七十三才 小森孝平
服部健次郎
橋本政吉
下野長五郎
渡辺次郎
利根善三郎
今田善三郎
枝、大屋善三郎
花、斎藤定介
川本八重子
橋本徳松
七十才 中村孝平
小島箱吉
七十九才 大橋平助
執行久吉
中田社次郎
花、西岡竹次郎
太郎、則武佐一
二宮鶴吉
河野幸三
中川M
深七郎
平、川口一松
寺本幸三
当日午後一時後には何時自動車
かお、に、何、直ぐお出かけ下
る、お、用、お、こ、い、ま、せ。

ブ
ル
テ
ン

(情報部発行第五號)
九四五年五月九日

日系二世が沙市に於ける彼等の舊居に歸還せんとするに對し、妨碍を試みつゝある或一團に轉住局地方情報係フローレンス・ウエスト女史は去る三日民主黨青年俱樂部の集會に於て是に批評を加へ鋭き一矢を酬ひました。

劈頭、最近ベルビューで開催された日本人排斥聯盟の大會に攻撃を加へ轉住局としては、反對派の言動に傾着なく、二世の合法的權利を保護する爲には凡ゆる權能を行使せんとするものであると主張し、同女史は次の如く論じてゐます。

出征中の二世勇士は一万七千以上に達し、彼等は國家の爲に戦ひ且欣然として命を捧げて居る。眞の民主主義の意味を諒解する公正なる米國市民は彼等日系市民の郷里歸還を妨害すべからざる事を信じて居る。煽動家は會費十弗を徵集して排日聯盟入會を勧誘し其報酬として聯盟は將來日系人全部を差遣し得るやう憲法修正を可能ならしむると約束して居る。

人種的憎惡を合法化する爲に残餘の全米から後援を得やうとしてゐるが、之は算る困難であらう。太平洋沿岸から立退いた十一万の日系人中四万は既に諸他の地方に轉住して、華州キング郡から立退いた一万一百人中の歸還したものは僅に三百人

に過ぎない。それだけの日本人を指し危険視するとは何たる事であらう。況んや彼等は軍部により誠實なるものと認められて居るのではないか。

求人廣告

所外職業紹介部では左の如き求人廣告を發表してゐるが、應募希望者は同部に出現して詳細を問合せればよい。

- オレゴン州ハイムズ 鐵道働き十名至急入用 時給八十六仙半
- アイダホ州ボイセ 製氷會社で一名入用。 時給七十五仙。住家提供
- 同 テーラー一名入用 日給五弗廿仙。
- 同 ペイテ 農園働き二口の募集あり 即ち、夫婦者或は獨身者及び普通農園働き三名、以上何れも時給七十仙。更に農園働き廿名入用。

司法官憲は宜しく 平等權を保護せよ

華府デリー・ニュース(廿七日)

加州の家郷に歸還した日系人が過般射撃されるのテロ行為に曝らされたが、かゝる不祥事件が、米國に於て如何にして發生し得るか、とて、右ニュース紙は社説で次の如く論じてゐます。獨逸軍の蠻行に對しては獨逸系米人は何等の危害を加へられないにも拘らず

- この分、時給六十仙。
- ユタ州鹽湖市 石灰製造所働き二名 時給八十仙乃至八十六仙
- 華府 藥劑師一名入用 食附で月給百五十弗
- 同、ホステル支配人 食室附月百弗より百廿五弗まで
- 羅府 日本人經營四十室のホテルに支配人たるべき夫婦者入用
- シアトル 家庭働き、月給八十弗以上百弗
- 紐育市 家庭働き夫婦者、子供一人位あつても好し、食室附百五十弗
- 紐育州ニウ・ウアーク 獨身者のベトラー 食室附月給百弗
- コネクチカット州スプリングフィールド グロサリー賣物。月収二千弗以上。賣價六千五百弗
- 同、二英加の土地に六室の家屋賣る。賣價五千二百五十弗

日系米人は制裁を加へられるべきだと考へてゐる者があるのは何たる事であらうか。而も日系人は伊太利に於ける見事なる戦闘記録により、公正なる待遇が、彼等自身及び其家族に附與されて然るべき事を充分に証明してゐる。身を以て忠誠を證した同僚米人に對する正義の意味からのみなら

ず、我々自身の自尊心と米國主義の理念擁護の上から見ても、我が司法官憲は、其祖先の如何に關せず、市民に附與されべき平等の權利に、飽くまで保護を與へなければならぬ。我々自身が、野蠻人になつたのでは、如何して野蠻行為撃滅の戰果を擧げる事が出來やう。

白人の國 代言の辯論

○華府タイムス・ヘラルド (廿六日)

土井純夫氏農園の放火、爆破事件の被告等が廿五日無罪放免となつた事件は各方面の視聽を惹きつけたが之に關し、デモン・オドネル氏は目下特派員として出張中の桑港より、右ヘラルド紙外、有力數紙に次の如き評論を寄せてゐます。

米國法廷に於ける陪審員等及び州立法部員等は、余の見解では、所謂、政治家團の上層階級に屬する大立物よりも、むしろ一般米人の本直な見解を反映せるものと考へられる。昨日(廿五日)六名の男子と五名の婦人とより成る加州陪審員は日系農家の家屋爆破事件で告訴されてゐた被告三名及び無斷脱營の二兵士等を放免した。被告側辯護士は「之は白人の國である。依然として白人の國たらしめよう」辯護主張してゐる。陪審員等も合意してゐるが、之については海外から兵隊が歸還した場合相當の話題となつて批判を聞く事であらう。

陸軍々人の除隊がポイント式によつて行はれる旨が去る十日華府より發表されたが、合計八十五ポイントあれば除隊となり得るのである。其勘定は左の通り

◎サービス・クレデット
一九四〇年九月十六日以来、軍役に三年服せるものは一ヶ月一ポイントで

合計 卅六ポイント
◎海外出征クレデット
一九四〇年九月十六日以

降海外遠征軍に従軍せる期間を假に一ヶ年半とすれば右と同じく一ヶ月一ポイントで

合計 十八ポイント
◎参戦クレデット
一九四〇年九月十六日以

降、参加せる左の公認された各重要戦闘毎に五ポイントが計上される。

中央ビルマ、アルデネス、中央太平洋、比律賓島、バブア、ニウギニア、印度ービルマ、東部委任諸島、西部太平洋、南部比島、ルソン、羅馬ーアルノ、南佛、獨逸、對日空襲、ネーブルス、フオツヂア、東印度、グアダカナル、北ソロモン、ビルマ（一九四二年）、支那、アルーシヤン島、歐洲空襲戦、エヂプト及びリビア、佛領アルゼリア、モロッコ、チュニシア、シシリー、ビスマルク半島、北佛、

更に授與された左の各勳章だが、七月一日頃までには章毎に五ポイントが計上

される。

殊勳十字章、戦功章、銀星章、殊勳航空十字章、軍人メダル、青銅星章、航空メダル、紫心章、従軍星章

假りに前述の三戦闘に参加し、二勳章を授與されて居れば

合計 廿五ポイント

◎被扶養者クレデット

子供三人迄を限定として十八才以下の子女一人に對し、十二ポイント。假に幼子一人ありとすれば合計 十二ポイント

となり、右ポイントの總合計が九十一ポイントとなり、資格の八十五ポイントを超過し、除隊となり得るのである。此ポイント式は歐洲、太平洋方面の何れを問はず適用されるものである。

州内農家捕虜使用

本年度は季節的作業出所が許可されない旨は轉任部長マクラフリン氏により數度言明されたが、其間の消息を物語るべく、左記の華府電の如く、當州を始め近隣諸州の農家は最大限度二万五千人迄の捕虜を農園に作業せしめる事になつてゐる。

華府十日發エービー電報によれば、陸軍省は五月廿日頃迄にアイダホ及び隣接諸州の農業に使用する勞働者として、一万七千七百の捕虜を送派する約束を與へ

更に授與された左の各勳章だが、七月一日頃までには其數二万五千に増加する見

いである。

西北太平洋沿岸諸州が捕虜を農園勞働に使用する必要に迫られて居る事は、過去數日間開催された會議に於て當州選出下院議員ドウオレヤク及ホワイ二氏の強調する所であつた。

是の種の勞働者が手に入るといふ保證は、戰時食糧管理部の勞働主任ビューイ中佐から得たものであつたと。

アイダホ農家は勞働者缺乏の故に、砂糖大根及其他未熟の收穫物掘返しを開始したとの電報が右二代議士の手許に達してゐると。同電報の發信者たるバインはアイダホ州マーシングに於ける農園勞働委員長で、農家は彼等の作物保護の爲め相當數の勞働力配給を約束されてゐ乍ら一人も得なかつた。農家の緊急必要とするものは約束ではなく、勞働者たるの苦言を吐いた。ホワイト事務所にて言明された所によると、捕虜は鹽湖市第九軍司令部を通じて送派されるのであつて、アイダホ州及ユタ、オレゴン、モンタナ等其隣接地域に於て勞働に従事せしめるものであると。

就職案内

○西部沿岸地方

○央州ポートランド市
千三百弗。加之二割一部六厘のオーバタイムの可
能性あり

○央州ハインジ
男子十名入用。鐵道保線
作業。時給八十六仙半

○スボーケン
大北鐵道で十二名入用。

○央州ニツサ

砂糖大根作業五名入用。
一英加十弗乃至十二弗。

○東部地方

○コネクチカット州ハート
フオード

夫婦者入用。月給二百五十弗。妻は調理及び家庭
働さ、夫は野菜畑の世話
及び妻の手傳。家屋を提
供す

○同所、夫婦者入用、カン
ツリー俱樂部の世話。立
派な住家及び食事提供。

○同州ハーヴェン

パークレー神學校で夫婦
者入用。一世夫婦者。雇
主は日本語を話す。居室
を提供す。

○デトロイト

五分五分の歩合耕作者數
組を要求中

○當所附近

○鹽湖市

病院掃除夫三名入用、食
室兩で月給八十五弗

○オグデン

罐詰會社で女子七十名、
男子五十名入用。女子時
給五十五仙男子同七十仙

○央州オンタリオ

農園働さ獨身者四名及び
夫婦者募集中。詳細は第
十四區岡田エス氏に問合
されたし

○愛州ゼローム

農園働さ二名、月給百五
十弗乃至百七十五弗

○ボーセ

十五名の鋸鐵工入用。時
給一弗十三仙。夜業時給
一弗十八仙。家屋提供。

○羅府

活動俳優フランシス・
トーンは夫婦者（月給二
百弗乃至二百五十弗）及
び子供の世話役たるメー
ド（月給百弗乃至百五十
弗）一名を募集中。立派
な居室を提供す

農園就働者ノ不足
(木記) 米國農務省農業經濟局發行の農園就業
者ニ關する記録より採稿したるものなり

昨年の今日よりして本年五月一日に於ける農園就業業者數は大
きく退した。農務省の發表に依れば之を昨年の五月一日より比
せば本年度は五万人の減少を示す。即ち昨年五月に於て
は百九十八万人なりしも本年の同期間に僅に百六十六万人
に過ぎぬ。如斯く減退は唯僅に中央アトランティック及び太平
洋沿岸を除きて殆ど全米一般の現象なり。従つて農家は就
業に必要の程度に迫る難きを哀訴す。要するは多數
の農家は既に收穫期に要する特別助力に對策を講じつゝ、
状況もあり、茲に於て農家は来る可き日取高收穫期に備
へんが爲め、輸入労働者及人戰時労働者に利用せんとせ然
かし之を全國農園に割當るとせば其數頗る僅少は失を
本年初めの植付佳良なりしも不幸にも四月の後半五月の初期に
於ける天候不良の爲め其の時を失せり。之が爲め今に至つて
作業は増加する一方なり
「ニューヨーク・ラント」に於ては昨年の五月一日よりして本年は農園
作業業者「パーセント」の増減を要するも此地方は昨年の五月
降雨の作業者減少となる四月の後半より五月の初めより
東南部「ニューヨーク」は五月一日以後春季植付は不可能と
なり「メイン」「ニュージャージー」「ペンシルバニア」に於ては植付は
事實上不可能となり
中部「アトランティック」諸州に於ては一年前此地れば農園雇
傭は三千人の増加となり然れども降雨の爲め野外の
仕事は妨けられ之が爲め春季の仕事増加となり
之れが爲め輸入労働者及び子供までも兩度の種
々増多となり
東北中央諸州に於ける農園諸所全体の僅僅數は
之を千九百四十四年五月一日に於ける百四十一万四千
人に對し百三十三万九千人なり此方面に於ては一年
より二万七千人の減少を示せり。インディアン
ス「ミシシッピ」に於ては春季の降雨は三

(2) の仕事と増加せり

「ローサンビルス」の「エバーグリーン・ホステル」

現今は諸市に「ホステル」を設け轉住者より永久的住宅を得る迄の一時的住宅として、最少数限度の居住者まで便宜を計つて居る。此種のものには、華府に「ローサンビルス」、「ミミ子」、「アポリス」、「ブルクリン」、「デスモイン」、「ロンドン」、「ミナリ」等がある。此種の「ホステル」の一つは「エバグリーン・ホステル」に於て、この「ローサンビルス」の「エバグリーン」街北五百六番地あり。此の六つの「ホステル」より成り、男子室四つ、女子室二つあり、其の他夫婦者及家族持ちより過ぐる用意あり。

室代としては最初の十の間は一日を邦食室付。或は仕事を得る点、其後は一日に付三、五、七、五、十仙の小供は其半額とす。来客としても一日は三十仙の割合を以て、食器及掃除の役を勤める事。或は宿舎に留まる人は平均六日半位まで自己の住宅より市ぬよて得たり。また来客者は亦以て室を豫約するものと得る。可成りならば自己の寝臺を携来ありたし。

「ロンドン・ホステル」

轉住者の一時的住宅として、華府西北の「ペンシオン」街に二百三十一番地の「ロンドン・ホステル」あり。これは日系市民華府委員会食舎の監督の下にあり。

最初の二週間は一泊に付三、五、七、五、十仙。第三週は一日に付三、五、七、五、十仙。第四週は或邦或十、五、十仙。但し小供は最初の二週間は一日七、五、十仙。次三つの二週間は、老若とす。然りし大體の人々は、第三週或は第四週の間は、増額は支拂せぬ。

「オリンピヤ、オイスター」會社に於て立退歸
還者を求む

最近「タコマ」のR.A. 更賀と會見したる「クロイツ」氏は「オ
リンピック」の「オイスター」会社の監督者たるが、同会社は
ては「戻」還日系人を雇ひ入れたし由なり。同氏は「立
退」前より「就」勤せし日系市民は「仕事」の成績は「満
た」しと同時に「社会」の氣受も「良好」なりしなり。故に
「戻」還せむとも「何等」の「紛」争の「種」ともならざるべし
「会社」係人の或人々は「立」退者の「来」去に對する「忠誠」を
「強」實し亦其は「欲」めたる「相」立んで「戦」争は「徒」事せし
「人」々もあり。同氏は曰く、会社は過去二年間は「就
勤」者を「全」然得る事は「不可」能なりしか。今更には「立
退」者の「戻」還を「歡」迎せざるのみならず、亦「住宅」の「心配」
をも為さるべし。

ケッド、リボル
キャンブス
於ける二世の心理

(左記は五月二十日附きて中野氏より「レノール、ウヰリアム氏」宛てたる書面の全文)

アハ夫人

私は午後三時近くまでグダグダ

その二つは到着致しました。住宅は善良で安
く、及、其書物も中々、二冊あり、名は「天竺」

丁度自他
想ふ所
又やうな
持の宜し
とて、貴
方なほ

禮て皮

上の仕事は毎朝五時に始まり九時乃至九時三十分
 上めあつて午後三時マデ休息しませ、其れからラニ
 ずと食し其れよりは彼是三十分位を要せ、それから
 夕食の仕度といたしませ、
 食事は割合は清平でも、わかつ及、

總室がある

ギヤツ
皆、^に町の中心から一哩半位距れて居る所の人々も

「ミストル」スタッフ「フォード」
 彼は四月程前「コンチネンタル」の「ハーフオルド」
 WRAの「マウカリスター」氏は「スプリング・フー」
 ルド「ミネリ」誠意なる日系市民の轉住は公共団
 体の後援を求めたり
 今日迄「殆ど」二十八種の仕事提供あり、之は農
 家のものもあり、お「モリス」ブ「ラ」銀行「子」於々も
 「フヒナン」シヤ「ア」ワ「レス」タ「ント」を要す
 惟ふ「子」今や貴君「於」忠誠たる日系市民を送
 る「子」最良の時機到来す、日系市民を「スプリンタ
 」「サトル」ト「ミ」送り、此地方の事情を會得せしめ
 「セ」ン「タ」ト「ミ」送り、他の人々を説得し、此方面は轉住
 せしめては如何「子」申すは
 近日中「子」此行動方針を取らされは、当地の人々は
 最早此等市民の轉住問題は存在せざるものと
 の誤まれを感想「子」陥らんと存候
 此要求「子」對する貴君の「申」返事「子」待ち申候
 セー、アルビン、アンダニ

東部地方「子」於「ハ」ル「廣」域「ミ」互「ハ」好機會

中央「ア」ト「ラ」ニ「チ」ツ「ク」及「コ」ニ「イ」ン「ク」ラ「ン」ド「ヲ」合「シ」テ「東
 海」洋「沿」岸「區」域「ハ」立「止」者「ニ」取「ツ」テ「之」等「轉」住「事」務「時」ノ
 援助「ヲ」利用「シ」得「可」し「此」事「務」所「ハ」都「會」及「田」舎
 へ「モ」伸「張」シ「テ」第「一」世「及」其「家」族「ノ」為「メ」適「宜」ノ
 機會「ヲ」提供「ス」ル「ニ」努「ム」
 此等「ノ」事「務」所「は」許「多」ク「東」部「の」都「市」に「設」置「セ
 ら」る「即」ち「ハ」ボ「ス」ト「ン」バ「イ」フ「オ」イル「ド」ニ「ユ」ー「ヨ」ーク
 「ア」ヒ「ラ」テ「ン」フ「ヒ」ヤ「及」バ「ル」サ「ル」等「に」在「リ」
 東部「沿」岸「の」大「工」業「及」農「業」地「帯」に「於」て「は」既「に」
 「ミ」千「人」の「轉」住「者」は「十」數「個」所「の」地「方」に「於」て「は」既「に」
 「ミ」不均「等」の「自」立「の」途「を」立「て」居「る」一「世」は「附」近「の」
 人々「の」り「友」好「的」に「接」觸「せ」ら「れ」居「る」一「世」は「附」近「の」
 人々「の」り「友」好「的」に「接」觸「せ」ら「れ」居「る」一「世」は「附」近「の」

な小学校や又は大學へも通學して居る此等の學
校は東部地方として教育及び國際人種的理解の
指導者として自任せんことをもの

東部地方に於ては都市間の距離が近接スル上
交通機関の便否も相俟つて居住者相互の交通は
僅か二時間の乗車より一時間定まるなり其如何
に短時間なるかは以下に之を記載せん

「ニューヨーク」ニューヨーク間は五時間

「フィラデルフィア」ニューヨーク間は四時間

「ハートフォード」ボストン間は三時間四十五分

「ニューヨーク」ハートフォード間は二時間二十分

「バントン」ハートフォード間は四十五分

「ニューアーク」ニューヨーク間は十五分

東部地方に於ける幾多の轉運者對し一時間三十分

各機關会アリて各人は各自の能力を發揮せる事

を得ず。教育のラニントン有るラデルフィア、ボ

ストン、バーバード、その他の都市に於ては小規模の

商業を自設し或は買受る後合多し。例金ば

「グロセリ」東部地方の如きものなり

「クリートニング」クリーニング、時計、修繕、レストラニ

「リミタング」ハウスの如きものなり

「ニュー」北都ニュー、シイの諸市、フィラデルフィア、ニユー

「オーク」市、東部地方に於てはエンジニア、メカニク、及び

就練なる工業職人を其の機会多し

「東」市に於ては政府文官の仕事の地位もあり例令

は「連」記者、通譯、其他一般の書記的仕事あり

「バル」モートン附近の工業市に於ては自動車メカ

ニツク、迷科、テクニシヤなど其他色々あり

亦所々の東部の都市に於ては「オフ」コース。高

度其他種々の仕事がありませ。亦農業方面に至

つては。既に東部農業園は従事せる者と同標なる

農園の株会が海山ありませ

加之なり。家庭労働、土地労働、其他労働、社会、会社、モク、子、て、良好なる給料以外。尚、一世夫婦、或は其、全家族の爲め、何事申分なきに、住居も、給與され、る所もあり。現今所、要の機会、の、事例は、東部、沿岸地方、て、發行する、特種、の、冊子、揭示せられ、てある。

居宅問題は、他の地方と同じく、問題の一つである。然れど、も、不断の搜索、其、其、地方の、其、力、機関の、支援と、相付つて、住宅を得て、居るが、固より、満足の、もので、なく、其、内、好ま、し、家を得る、までは、其、の、潮流、は、従ふ、外、は、仕方なし。然し、フ、テ、ン、フ、ヤ、及び、ニ、エ、イ、ン、グ、レ、ン、ド、の、都市、に、於ては、住宅問題は、容易に、解決、され、ず、ニ、エ、イ、ン、グ、レ、ン、ド、の、都市、に、於ては、住宅問題は、ボ、ス、テ、ン、フ、ヤ、の、ボ、ス、テ、ン、及び、イ、ン、テ、ン、に、於ける、以て、一時的、居住の、便宜を、計るのみならず、此の、大都市、に、来られたる、人々、の、交友的精神、を、以て、尊待し、て、免、る、轉、住者、に、して、其、地方、に、到着せば、友人も、出来、亦、援助、機関、と、親切、を、以て、丁度、自分の、自宅、に、居、る、や、い、な、心、な、る、標、本、を、以て、居る。而して、轉、住、助、援、局、地方、団体、機関、及び、市民、轉、住、委員会、を、通、じて、轉、住者、の、復、起、問題、を、計る、事も、可能、なる、可し。

東部諸地方に於ける家屋問題(第一世の)

第一世及び其家族の住宅問題は、東部沿岸地方に於ける、轉、住、委員会、に、依つて、常、に、研究、されて、居る。大小の、都、市、共、に、此、問題、の、状況、は、左、の、如し。

「リッデフヒール」市に於ける、ガーテナアの、仕事、に、對、しては、月給、百、二十五、弗。少、小、なる、四、室、の、及、び、沐浴、場、は、一、家族、用、の、妻、は、雇、主、の、家、婦、に、代、つて、洗濯、して、各、料、を、得、らる。學校、は、住宅、より、一、哩、半、の、處、に、あり、バス、に、通、り、得、可、し。現今、日本、人、夫婦、は、タク、ス、及び、家、供、を、以て、飼、ひ、て、居、る。

「ワシントン」D

華府の有るなる醫師は小児を有する夫婦者を求む
婦人はグロッキングに従ひ。夫は一般の、ハース、ウオーグ、及
ハインツ、作業者に従事す。月給百七十五邦、其他十分
の生活に必要なる物を給ふ、而して小供は附近の
学校に通学せざるを得

「ライデル」市に於て嘗て日本人系を使用したる人よ
して、今度、自己の十三英加の土地に、偲く夫婦者
を求む。土地は三十分位、一、行けるあり、男
はグリーンハウス、百羽の「チキン」及「数頭の牝牛」を
取扱ふものとす。給料は最低二十五邦、週給
とし。外に「カッター」式の住家を與ふ、此の住
居は小なる三つの寝室、バスルーム、キッチン、グ
ルーム、ダイニングルーム、及「ケッチン」を具備す、
家屋は「執湯」冷水、電気あり、「ケフ」には電
気、洗濯機の「ス」なり、「ヒート」ライト、及野苺
物等は自由で使用せざるを得、勿論、給料

一東部沿岸都市に於ける第一世向きの仕事。

東部沿岸地域を通じて、第一世の爲め、許多の仕事が
あり。即ち都市の働きとして、工業、商業、的、専向的
のものあり、差当りの地位としては左の如し

計費係 百四十邦 月給
全計監査 週給二十邦乃至四十邦 一週六日。
建築設計係 週給六十邦乃至八十邦 共
（紐、同市及ヒ、ニ、アー、ク）
亦同ニケ所を於て。自働車。週給としては、三
十五邦乃至六十邦 共、子、延、験、の、如、何、に、依、つ、て、
「ポスト」には八十仙時給、ヒース、ウオーグ、其、準
「ラカフ」。「バル」モール市にありては、大なる
「タキシ」。「グ」。「フ」。「子」。「終」て、一、特、司、一、邦、乃至一、邦、
六、仙。六、人、の、就、館、中、に、あり。住、主、は、在、宅、の、周、旋、
を、為、す

自働軍々休手入レ及ハメカツクを要ス。週給六十五弗
乃至七十弗。四十八時間働クシントシD.C.

ベーカーの助手。週給三十弗乃至三十五弗。一週四十時間働。月給百三十八弗。一週四十八時間働。ワシントン・D.C.

「ブツクキーパー」。
3周 給冬十四邦五十仙（紐育市）

婦人裁縫師——初給三十五弗週給——（紐育市衣販店）

「ドラウクトライバー」——四十弗週給——（ボストン市）
「タイプライター」修理者——六十五仙時給——（紐育）
冬々十弗乃至三十五仙週給——（華府）
時計商——五十仙週給——（華府）
「フニントン」工

「フギラデン」フギヤに玩具製造所——第一世を求む

大なる工場ではないけれど全國に知れあつておりあせ。十人の第一世又は二世を、男子又ハ女子を求めます。戦後にも仕事に迷ひし事は、バカ高合の千八百七十二年に創立し現今までは玩具具「アノ」木製玩具を製造する仕事は容易であつて、童子老人が働いて居る。一週四十時間なれど「オーバタイム」あり。ホバートタイムの働もあります。仕事の状態は優秀的なり。時間仕事は婦人よりは六十仙、男子は六十仙。多くの人は「ピース」ウオーク基準として働いて居る。軽住者男女は各自好みの仕事をし得る。働きたい人は要する条件は。男女を問はず、聴音をさぐり分ける耳を必要とす。戦後多少の練習後は一週同様に「ピース」ウオークしても、五十弗乃至七十五弗までは成ります。平均七時間或ハ十仙は取りまき、只だ、少し分ける耳の練習が望ましいです。ペインター散布者は「ピース」ウオーク一時間八十仙乃至一弗。「サンドペーパー」技術者は「ピース」ウオーク一時間八十仙乃至一弗。技師たちは一時間八十仙乃至一弗。

「フヒラデルフィア」に於ける輕便組立工場にて第一世を求む

戦後の將來も有望なる此工場は一世及ハ二世の男女を求む。仕事は小なる器を組込む煩る容易なり。何れかと言はるる第一世を求む。仕事は。出来上りの容積量より、第一世は出来上りの品質ノ良好を要す。

男子は一週五十五時間。女子は四十四時間。午前及午後
後は天北く十五分間の休息あり。会社ハ給料
附一週間の休暇を給ふ。クリスマスは一年間の
利益の五パーセントの慰勞金を支給す亦疾病
及いふ等の保険を付す
不然の初級者は六十仙時給を與ふ其後ち経験
を積むに従ひ各三ヶ月毎に一時間より五仙を
増加す

勤々熟練したる者は一時間八十仙乃至其を得
就練を経たる者は一時間一帀五十仙乃至其以上を
得可し

「華府に於ける一世「コロサリ」主人曰く華府
には小高店を營む棧會多し」と

華府には小「コロサリ」を營まんとする轉住
者には其棧會多しとは「ウナマザキ」氏の言なり
此人は華府より日本入系として「コロサリ」を
經營せしむる一輩の人なり

右「山崎氏」は十九百三十四年加沙の「コロサンセル」より
華府に移住して殆んど一ヶ年以前は高店を
開始せしむる其後、全氏の成功を見て、追々他の人
々も高店を開始せり 其中、近頃の轉住者二人
あり「印」ち「ギラリバー」より来りたる第一世の「浅香
氏」亦「バー」トウ「ウ」ン「テン」ヨリ来りたる第二世の「比賀
氏」あり

次記の事項は山崎氏の當市に於ける事業上の経験
談なり

私は小供と打ち始めた當時より、殆ど生活の道を
開かんと思ふ處してゐりました。戦争突進後
と共に、私は月給百八十帀で、家内が働か
せました。然れども、小供教育の爲め、比較的
拘束の少く、境遇を知らぬ爲め、自己獨立の事
業を遂げようと思ふに至りました。コロサリの
新聞紙上の「廣告」を見て、コロサリの賣物を見
出し、思惟した。コロサリを始める事は私に
一寸忌怖感心が起りました。

私の得意容は主として「カウボーイ」人種で、取引上、丁重
 なる親切を要する事を大切として居ります。私は日本人で
 をけれども。何等偏見問題も接しません。加之他の
 附近の全業者よりも、良好の成績を挙げたりする
 我々此處は、グロセリを開始せる最初の一人とい
 えます。華府でグロセリを開始せんと欲する人はあり
 ます。太平洋沿岸に於いて、グロセリを営む日本人は
 少なかります。私の考では、グロセリは日本人に適
 したる事業と思ひます。若し日本人として此の
 事業を始めんと欲する人あらば、私は喜んでその
 事業を助へたいと思ひます。ホグロセリの外は、家内
 仕事は、幾らでもあり、華府に住む人は
 何等恐怖を感ずる事及びません
 私の知る限りでは、大層な少くも人種的偏見は
 ありません。且つ、亦、誠實階級の人士は、日米戦争
 と在米日本人とは全然関係がないと云ふ明白な
 る區別を理解して居ります。諸君は自己の将来の爲め、勇氣を鼓して、彼等
 来り自己に要する事業を為さんか。私は
 切に希望を致します。W. R. A 地方轉住事務所は、一世が華府に於て、親
 族の事業を為す執て、色々其機会を調査
 しつつあります。君は「センター」の人々として、此等
 の機会を失はる詳細を知る人は、「センター」の轉
 住事務所と照會ありたい。

ズエ川崎より所内の「ナイバー」氏宛てたる六月
 五日の手紙左の如し

「ナイバー」様、は、手紙お見致しました。今後は
 第二世として、転住を企てつ、諸君に宛てて一筆
 書きます。

私は目下、ウクリブランドから百五十哩離れたる「デラ
 ウエール」の「オハヨウ」ウエスレーアン大邸子に「フレッド」
 「ダビッド」して通學して居ります。此處の寄宿舎に
 て白人の「ガール」と共に住んで居ります。私の

決して忘るべき出来ない経験を得ました。私が初めて此の世に生れし時は白人のガールズ達は彼等二世ガールの外見に對し一奇異の感があつたらしく見えました。それから我等が對する態度が漸次変化し今では全然別な人々になりました。而して其の隔てなき同族となりました。それは誠に不思議位です。

二世が對する社会の空氣は良好なり、人々は交友的になり、私自身として一區別の待遇やう又は人種偏見を受けず、寧ろ彼等の自宅に招待しては白人のガールズ達は彼等の自宅に招待して呉れ、又は次期の中學年は同室しやふと誘ふて呉れ、また一母の日は私は學友の母親と面會しました。だが皆な私や同分の小供と同様に取り扱ふて呉れました。ステアードの家では一週同程、如茶花の別荘に誘ひ、呉れました。この中村元とステアードの人は學生会の議長に推挙されました。そこで競手が始まり、またが。學生会の歴史的な多数教員止村を後援しました。彼等は人種的感情を離れて、個人的基礎を基いて、二世を受け入れた。クリーブランドも、二世が對する地位は開放せられ、私は夏季に働き、また下が。凡そ四圍の状況は満足的でした。外見に於ける生活は、キャンプの陰鬱なるそれと此の、別物です。吾等は不自然なるキャンプ生活と、外見の煩悩、其の戦々然たる責任と感ずる。私は此の責任に依つて得る所願するものあり、之に依て亦益々教育を受け、大學を卒業し得ることを希望して居ります。転任生活の本年は、亦一獨り、はが手代は、不満足して居りました。転任を欲する人のため、と云ふべきです。

アイダホ州に於ける公立学校

アイダホ州には千五百九十九の学校区劃ありいな
るものは一つの學校五人の教師の要もあれば又
澤山の教師を有する都市の學校もあり
無料公立學校は第一より第十二グレードまで分
た。學校校區域は三十日間居住する者は無
月謝通學するを得ず。但し他は居住者を
有せざる場合は限る。アイダホ州の「検定
校長の及ぼしたる新規則に依り、退者は今
は住居たる資格を有す。州教育局は此規定
を勵行して、轉住者の小供は、無月謝通學
するを得。

教科書及其他學校用品は、グレード・スクールにて
無料なり。お、バスの往復便利なる區域に
在りては、乗車無料なり。

田舎の學校區域は、8-4式に従ふ。即ち「公
ド・スクール」の八年、「ハイスクール」の四年とす。許多
の田舎の學校は、小なるものは教師一名と「グ
レード・スクール」の六年、「ユニ・ハイ・スクール」三年
及「ハイ・スクール」三年

州法に依れば、六才以上十三歳迄の児童は通學の
義務を有す。「サード・グレード」に入學する者は
十月迄に六歳に達するを要す。

アイダホ・グレード・システムに於ける習學の科程
は、諸他の州と同様なり。「ハイ・スクール」卒業の
年、難は十歳以上。要因は、「ナチュラ・サイエンス」
中の二、数学の二、二つ、「ソリヤル・スタディ」二つ。
米國一歴史の一つ。英語三つ、其他撰譯。初め
て、アイダホの「ハイ・スクール」に入學する学生は
入學試験を要せし。但し、「ミッド」の「ハイ・スク

二世は既に「優秀」な「轉出」する者。昨、
「ウチ・サイ」の「ハイ・スクール」の「バスケット・ボール」の会
合となり。ボイス・ハイ・スクールの「R.T.C」の「ギヤ
デ」は二世なり。

ゼンター閉鎖の時様々於ける諸物件の処分
 付ては、R、Aは之を建物の一部と見做す。建築
 物の内外に在る物件及び建物に何等の損害を
 加へずして取り去ることの出来ざるもの又は移
 動の爲め其の價格が及ぶ損失の自然に生ずる
 物件。右は、華子付のR、Aの割示に基づく
 今茲に詳細を掲げん
 冷蔵庫、冷蔵庫、室内のものは之を清潔
 掃除し、戸を開放し。建物内に残置し
 之れは建物の一部と見做す。従つて動産記録
 に編入せむ
 移動し得可き、フロア、タイル、清浄子。大なる
 ものは、倉庫中に納め置くか或はゼンターロケー
 ションに移動せしめ之等は建物の一部と見做す
 ストール、キッキン、シンクは之を掃除し、油を塗り
 ばう、ク、オフ、ヒース、及び「リク」エーシ、ホールから
 移動す。之のものは、建築物の一部と見做す
 在
 パット、オーク、システム、タンク、ボイラー、及び
 「フ」子ス、如きものは取り外し。水をあけ、油を
 塗りて、屋内外に残置し。之の物は建物の一部
 と見做す
 パット、オーク、ヒーター、電気、其他の装置は、して
 容易に取外し、の出来るものは之を倉庫又は
 「セントラル」ロケーションに留保せる事。
 「プラン」ビニル、トイレット、ボイル、ユリナル、シンク
 「タフ」等ハ取外して、屋内外に残置スル
 「ユ」リ、チー、システム、ウオークソーヤ、電気
 等ハ之を取外し。之は建物の一部と見做す
 而して屋外にあるものは、オーバーオール、システム
 の一部と見做す
 屋内外の清道具、ドレーン、ボルト、ギヤ、子ット、カッ
 プ、ボルト、如きものは、屋内外にある場合は之を
 建物の一部と見做す

食費の「テ」が、其他の材料として立退者の荷物の荷造りには必要なるものは之を処分せしめ、食卓としては種々の目的に這せしものは、各自の食費に残し置く片隅に積置へ置く可し。食費に於ける他の器物として移動し得るものは倉庫又はセントリーのカーションに移す可し。建築物の一部に見做さる物件は、最早最初の目的に使用せる必要なきものは、速に剥離を目的と編入せし。

松下山氏の観察したる「ソートレー」方面の形勢

米の對日感情は至極良好の如く。米人経営の「レストランド」活動写真、各種商店は勿論「ソーリー」市を其の他の温泉場までも。日白混浴。何等の差別待遇を認めず。

又曰日本人強盜のレストウント子多クの来人殊子運人の顧客あるは注目し値也

第一流の店として、証明する「カード」を提出する

示し。此類の清浄な設備の完全と言ひ、實
氣持ちのよい場所が非常に多し。
ソートリーキ市は、その中でも、

就倒者少く、手子持座の技能を高く

裁縫師の如きは米屋並の店舗

又血洗の如きは容易に就

附て月給百貳十五串
二、三、四、五の皿洗は食事

ソートレーキ
オクテン間の私営電車保線の

イ
容易に得らるゝの事あり

日本經濟の「大企業」は容易に無しと云ふ

板立、素具、繁盛あり。此等木子ハ乃テ益塩は

此地の物産は一枚の桑のやみより

「ベテ、青木より所内の「ナイバー」氏宛てたる
六月六日の手紙

（青木は「ハント・ハイスクール」を卒業し其後「ハイスクール」
校長「カーガ」氏の「セクレタリー」を勤めたり
千九百十四年十月に転任して目下は「ウイस्कン
シンの「ミル」オーキ」第十一街北九百十七米の
「グラント・ホール」に居住す）

「ナイバー」様。 「ウイस्कンシンの「ローシン」へ一寸の間短旅
行して帰宅しましたら思いあけなく貴君が
らの「手紙」をお見いただきました。誠に喜ばしく
りまして。近頃なから私の転任後の経験について
感々として。市手紙は對する所返事といたし
ます。

「ハント」以来の私の経験は貴君は思はくは冒險的だ
と言ふかも知れんが然かし大概の立退者は私か過
去二年間は突破したと同じ経路を、通り抜け
たろうと思ふます。

學生として転任するのと僱給働するのととは、行く
方面が自然に異なり。『子ブラスカ』の「リンコン」人
の「ハカハ」の都市は理想的の「カレール」タウシで
あります。私は「ビビ」子スカ「ゲ」通學しました
「タウシ」の人々は甚だ良好です。『子ブラスカ』から
東の方へ行きますと。立退者も一般の公衆から
ら表面の笑い顔いで迎へられます。
中西部の人々は大多数は白人や、支那人又ハ
「キ」にカニてあるふと。何の區別を問ひません
勿論種々民族が無數にあるので是から。
私は多くの場合は支那人と同様へられ減多
日本人と見て呉れせん。不思議な事では
私は支那人と佛蘭西人とも血混兒或は他の人種
とも見られます。人々は一種の好意心を以て
我々を見まされども決して、顔形などを見て輕
蔑するのではありません。

然れども日本人系の米友人であることを知ると我々
は一種の興味を持ち、彼等他の友人に對する
同様の待遇を施す。

私は今日迄諸所を旅行した中で、「ミルラギ」
が一番私の心を入りました。私の思いまは、多
数の人は「ラスカン」を理想的の転住地と思
ふて居るらしいです。人の心は主として、独逸系
で、而して我々は對しても、氣分の好む態
度で接する。我々は對しても、打解けて、交際
し、思つたところの場合に於て、我々も善意を解し
ます。

「ミルラギ」には既に三百五十人乃至四百人轉住
して居ります。其の中三十五乃至四十は第一世で、
此處で轉住した家族は皆な氣分よく、生活
を為して居ります。或る人々には、主退席の
從事せし仕事、或は業務に従事せんとして、
居ります。例へば、グリーンニング、クラフ、
店其他色々考へて居ります。

この方面に轉住せんと人々は可なり早く、良好の機
会のある中に来らん事を勧めます。

中西部は新家族を作るに、其の理想です。

「ミルラギ」の第二世は、J.A.C. の團體を組
織して、当地の W.R.A. が代つて、轉住者を援助
せんとして居ります。この組合は一世を援助さ
るゝため、最善の努力をせむと思ひます。新轉住
會長は、ハンストンありし金子氏にして、力のあ
らん限り努力せんと志す。

私は茲に轉住せんと志する立派者の幸福を祈る。
其の彼等の自信と意思は、必らずや轉住上り
成功を齎せると信じます。

バテール、N. 青木 敬白

山崎氏より「ナイバー」氏宛てたる六月二日附の
手紙

「山崎氏ハ」ワシントンが「フワイ」の人として
「ミズドカ」にありしが千九百四十二年
「ミズドカ」を去つて「オレ」に「入道」
今の「ミズドカ」は「カンザス」に「入道」
大學と関係ある諸氏は皆々非常「面白く」
著し「なり」ます。之は「學部」と「學生」の双方に
事である。現今は八名の二世は「通學」して「なり」ます
「理科」部には十三人「理科」大學に「通學」して「なり」ます
「理科」部は二人は日本人です。「パートタイム」
の仕事は「澤」山あり「澤」山「大學生」「キンパス」の
「場」附近には「家庭」も「キャンパス」の
私は今は「生物學」をやつて「なり」ます。社会人
は「良好」で「経済的」待遇など「交けた事」あり
ません。「カンザス」に「大學生」は「密接」の連絡
があり「なり」ます。卒業生は「澤」山「機会」が
「センター」を出所したものは私は「澤」山「事」て
た。自ら自身の教育方面のみならず、私自身
身を改善する方面も大なる利益があります。

山崎 ね

一等兵、ポール・ワシントンより「ミズドカ」の諸子
宛てたる六月五日の手紙

「ワシントン」は「ミズドカ」の人として「ミズドカ」に居
「ハイスクール」に於ても「なり」ます。現今は「カン
「ミズドカ」の「ロビンソン」兵營にあり

「ミズドカ」の諸君。此手紙は主として「第二世」諸
君宛てたるものであります。私が「中西部」に転任以來「米

見聞したる往々の事柄を書きまわす

私が大學生に入學せんとして、こゝろを定め出所した

一九四十三年の八月でして、而して来まゝ

「アイオワ」の「デニブリー」の「ウィラス

カ」にてゐた。其れで私が直函した事柄の概畧

を抽出し、ふと思ひました。其持から思ひて、

まゐした。だがそんな豫見は中々確的では行か

ない。のこす。先頃も十二人の學生が集合し

たが、彼等は唯一の家族にゐた。我等の學

校に通學する諸氏を、咸知して、鈴木。

塩山。二の宮。屋敷。福。石。林。而して、堀内

一君等も。此處に來た。其日、カ、遠慮な

く、好まぬを以て、迎へられ、した。テ、ブ、ク

の、人々、は、隔、意、な、ま、人々、と、或、る、人々、は、我、々

と、對、して、大、に、親、し、み、々、特、ち、ま、した。或、は、彼

等、の、自、由、に、デ、ン、ナ、と、招、待、し、て、居、たり、何、や

彼、や、等、々、々、表、し、て、居、たり、其、の、室、なる

理由、は、日、系、米、市、民、と、は、何、ん、な、標、た、もの、か

を、知、り、度、い、の、こ、す。免、れ、の、用、錢、等、は、彼、の、人々

と、感、謝、し、て、居、り、ま、す。

夏、季、は、コ、ン、シ、ト、カ、メ、ル、マ、イ、ン、病、院、に、働、く、為

め、に、デ、ト、の、イ、ト、に、行、き、ま、した。一、世、及、バ、二、世、は

對、する、待、遇、は、同、じ、で、あ、る。二、宮、中、川、黒、河、及、バ

松、平、の、諸、君、は、陸、軍、入、隊、ま、で、皆、以、度、に、働、いて、居

う、に、ま、した。デ、ト、の、イ、ト、は、一、般、の、通、り、全、然、

工、事、地、で、は、一、日、々、盛、一、活、動、し、て、戰、争、の、為、に、若

我、類、々、割、取、を、一、々、居、り、ま、す。フ、ハ、ド、の、會、社、も

第、二、世、が、働、いて、居、る、と、い、つ、て、は、

チ、カ、ゴ、ヤ、イ、ン、デ、ア、ナ、と、い、つ、て、は、二、世、は、自、己、の、欲

を、する、仕、事、を、得、て、居、り、ま、す。

上、記、の、三、都、市、に、於、て、二、世、は、其、の、仕、事、を、確、保、也

ん、と、努、め、て、居、る、や、う、で、は、

如何、なる、手、続、を、シ、タ、以、外、の、状、態、一、事、情、を、精、確、

に、記、述、する、事、は、困、難、で、あ、る。人々、は、其、院、遇、を

定、して、天、と、異、なる、考、を、持、つ、もの、で、は、

な、つ、て、一、つ、の、事、と、い、つ、て、二、つ、の、事、は、一、致、し、ま、せ、ん

夏季休暇中は家達働をやつて居ります。家達働は、ガールには幾らでもありませう。家達働は自己将来の存計画の爲め。必要なるものであらう。容易であらう。

私自身も初めの間は、南転位まつては彼是れと
いふなり、として居りました、其れは外界の生
活は々更どんなものか。知りませんで、したから、
然かし今なつて。出所して。よかつたと、思い
ます、来て見れば、其れは、以前（退去前）と同じ
事として。今までは何事もし、イン式になつ
ただ、けが變つた位のものでは

後れむ。仕事、の浮山ある間子、虫所せられん
 軍でゆく。

「かつ子犬塚」

東部
雜業案內

經商市。退從海軍大佐「ホワイ」氏は男
 子又は婦人の「ク」を求む同時「ハ」スラオ
 クも爲さる。月給百五十円あり。他
 子生計援助あり。「ヒート」の設備あり。ホーム
 専用沐浴浴場もあり。洗濯は外部子虫走
 り、其の心配はない。

トウツに農園子監督者を求む。下ラクター操縦
子経験ある者たるを要す。年給千八百弗の
外子。三室を有する住宅を提供す。ヒート
あり。若し家族で好むとあらば。夏季斯
尚は。娯は或十弗。週給ありて。働き得可し。小供
有るも差支なし。此仕事は永久的なり。

マツサシユセツト州一ツケニステীগ C.S.フワ
ニスウオルス氏フツシウオルス・鐵物ル会社重役
方より六百英加の土地内に於けん家屋の世に
出る夫婦者と要む。婦はクック及ハウス
キーピングに従事し。家の周囲を監督す。

且つ赤家屋内部の「ベビー・ラック」に從事して、
試の五室の家を主として居る人は、主人一人のみ
月給百五十円乃至百七十五円なりとも夫婦の
者より能力あれば月給増加の機会ありまた
一通万が一の休日を與ふ。此の土地は「ロー・エ
」から僅かに九哩。「ホーストン」から二十哩あり
「ワシントン」氏は往復の爲めは「ヒートン」
を供提す。ホニールムの家屋はバス、附分、
食事をも。今氏は「ハウス・マン」として、
ひましたが、其人は頗る満足して居ました。

中西部

「ミシシッピ」の「ウェイヴァー」
「ミセス・ブライク」
方より夫婦者を求む。婦人は階下の掃除
と「クック」を爲し、男は「カーテン」及び「窓」の
場合等は、家内仕事の助力を爲す。月給百五十
円乃至百六十円。

中山部

「ミシシッピ」の「エクセルサー」
「チエスター・ワット」
「ジョンソン」氏。夫婦者を求む。婦人は一般的
の「ハウス・ウオーカー」及び「クッキング」を爲し。
男は農園に働く。月給百五十円。

「アイダホ」の「ボイス」
「ダグスター」
氏方より二人の「ガール」を求む。「ハウス・ウ
」
「オリー」及び「クック」を爲す。時間の一部
を利用して、学校に通ふ事を得る。「ハウス
」
「ウオーカー」を爲す。初給五十円
食、室付及バス。

「アイダホ」の「メッサー」
「メッサー」
所有主「バーロー」氏は十人乃至十五人を求
む。永久的の仕事なり。成る可いなり。ば
獨身者を欲するも、小なる家族は差支な
し。二室の住家あり（家族用）。赤本年の
冬、まゝでは、四室の「アパートメント」を造作
中。

既子数名の人々、宿舎用として居る

「アイダホ」「ウヰザー」。斂宗野氏方まで田力女十人乃至十五人を要す。獨身者又は既婚の如何を問はず。「アニオン」の草取り。「ビーツ」のホニシグ。「カウトポテト」。「レタス」の「カウベ」其他一般の「トラウ」。「フマ」の「仕業」。現時は七仙の時給。収穫期は壹井を拂い。休事は千九百四十五年十二月十五日迄猶ほ休みなし。二室、三室及び六室の住宅夫々ありませ、農園は學校より四分ノ三哩若か距れておりません

「アイダホ」。「ボカテロ」。「ミセス」。「ピータソン」は一婦人を求む。仕事は「ハウスウオーク」と子供の時給を定めること。月給四十弗、食室付。バス付の「ブライウエトルム」。「ハウスキー」は三、四月の間試験的に入。本人満足ナレバ永久的となる。「ミセス」。「ピータソン」の住家は「ボカテロ」の中心点より僅かみセブラテ高れて居ります。元では都合能く出来て居ります

中央「ニンサ」。レオ・ウヰン氏は四人乃至六人を要す。仕事は「ニンシング」。「ホーイング」。「ビーツ」。「クビニング」及び「ボテト」である。給料は世間一般と同額を拂ひませ、仕事は十一月一日迄である

中央「スエーゴ」。R.C. ペリン氏は「ウヰラメット」河に治したる「ボートラッシュ」から十里距りたる農園を十五英畝を貸付けたし。野菜・ヘイ・又バナナ・リンゴ・数種の野菜も「フレイ」したる土地に耕作方法を依り且つ肥料も充分包有して居ります。農園には半英畝の梨子樹がある

「ミーストル」のヘリン氏は加勢子住居し日京市民と能く
接觸し常に彼等と尊敬を拂ふて居ります。

西海山岸

「ミヤトル」ギヤング、フワイヤ、カールス及「YMCA」
に於て夏期キャンプの爲め「クラフトカウセウ」
として二世「カール」名を求む。仕事は六月二十
三日から八月九日迄也。必要用品と給料を
拂ふ。「カウセウ」は手工藝の教々を教示さ
るもの也。此の仕事は「ミヤトル」の「ソー」ヤル
エゼン「ミヤ」と接觸する多くの機会を有也。

加州サンセレンモ。「ミセス」アツテは一人の小間使を
求む。仕事は、六室を有する「カフチー」及二人
の年長の小供の面倒を見る也。良好なる給
料を支拂ふと同時に、頗る便利の能き室を給
也。一週する金一日の休日と與ふ。此家は、常
業区域より僅か三三ブランクと離れて居る
のみ也。

加州「オークランド」。「ミセス」ドローラーは「ベニア」
「リバー」に治ふたる若者生院に働く二人の男子
を求む。其の一人は内部に働き他の一人は外部
に働く。現時ならば、獨身者で遠く居る家あ
り也。此の「ホーム」は、共力的で、何等の利
益もあるのでは有りません。

加州「サクラメント」リバー・リジョン。

エドワード氏は、中年齡の夫婦者を求む
「ハント」クラブ或は「ブライ」ウエートの「ブレン」
の仕事をする者を求む。其れは「サクラメント」
の「ミヤ」に於ける「ミヤ」の島にあり也。
月給百五十元。住宅附。
夫婦は、自分自身の表、鶏も出来也。若し
相互の機会あらば、「シエ」グラッパ「標」

標準の養鶏事業を發展せる機会あり
 への俱樂部を経営せる人々は皆有福者で
 社会に有力なる人々で也

「センター」の倉庫に於ける財産を以て今日まで
 所有者不明のものに属せる手帳。

現今迄退者の財産を以て未だ何等の手帳

を以てし

其の代り倉庫に於ける財産を以てし

を以てし

其の代り倉庫に於ける財産を以てし

を以てし

其の代り倉庫に於ける財産を以てし

一、所有者不明の財産を以てする人の姓名及住所
 不明の財産を以てする人の姓名及住所

二、若し所有者の姓名及住所不明にして「センター」
 以外に六十日以上に亘る者に対しては

書留郵便を送りて其の取返を要す
 可し。即ち其の財産は転任後六十日迄

「センター」の倉庫にあるものと。若し手帳
 發送後十五日以内の一預けて居なかつた

と返事なければ「センター」に於ける本人の
 財産は本人の居住する地方の郵便局宛

に送附す。或は本人の居住する最近の
 鉄道驛。若し其の代り鉄道驛に於ける

郵便局へ送附せる、若し手帳が發送先ミ
 の住所不明な取附つた回答ありし時は、所長

は、十五日の期間満了と共に本人の居住先
 ミに送致す

「ソーシヤル、セキユリ、ボールド」を以てして、直接
 「センター」に於て、與へらる、補助金。

「R.A」の交付金或は補助金以外に、從來外部の

「ソーシヤル、セキユリ、ボールド」に依り與へらる

十一月の転任補助臨時支給は行政告示第百六
 十三号より則り六月一日以後之ラビスター内にて
 支給せる事となれり
 然レハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 付てはハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 者ハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 金額と知れりハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 一ヶ月の臨時補助金を得る事ハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 即ち一ヶ月の臨時補助金を得る事ハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 停年等より任官迄の平均年齢を算出する事ハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 最重制限たる資金金はハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 家族の少くハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 補助金はハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 助金はハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 又ハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 一ヶ月の臨時補助金を得る事ハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 マーリニングハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 て詳細なる説明を受ける可し
 新規規則はハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 新家族はハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 助金の最末ハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す
 となし忠告を興ふる事ハハ行政告示第百六十三号は転任補助金が増加す

ブルテン

情報部発行
一九四五年八月七日

メリランド州 || ミード兵営では二世園により太平洋戦争の爲兵士を訓練中である。各国は士官二名、徴募兵二名、外二世十三名により編成されてゐる。

草府 || セーゴブ・デヴァース将軍が陸軍地上部隊司令官に就任後、最初の新聞記者園會見に於て、歐洲戦場に於ける第二世の働きぶりを激賞し、太平洋方面でも出来得る限り多数の二世を教官として又は戦術員として採用したき希望を声明し、更に、太平洋沿岸地方に於ける日系市民に対する区別的待遇や侮辱的行為を鋭く駁撃した。

加州サンデーゴ || 米海軍航空場週刊誌は人種的嫌悪を指摘し、之をナチ主義の有毒なる種子なりとの刻印を捺し、日系市民に対し、蔑視の指をさし向ける權を誰が有つて居るかと論じてゐる。

草州スポーテン || 同市英字紙リビュウ紙は最近の社説欄に於て、『日系市民の郷里に帰還しつつあるものに対する公正の待遇』といふ事が漸く強調されつつありと論じてゐる。

愛州ハント || 所長スタッフフォード氏は弟世二邑前チーフにして、目下紐育ラット湖アントラー・ホテルのチーフたる副田佐一郎氏よりの私信に接したが、其一部に曰く

私がハント轉任所でチーフをしてゐた頃、轉任の好機会は多々あつたけれども、『吾等同胞に対する輿論如何』といふ問題の爲に好機を捕捉し得なかつた。然し實際に轉任してみれば、念と相違するに驚いた。僻見もなし、非常な友情と好意によつて待遇されてゐる云々

アイオワ州デモイン市 || 前ミネソタ州居住者である氏は、業に従事し、現在では住居を購買し、當所に残留の妻子を呼寄せんと計画してゐる。

草府 || 以前當所第五邑に居住してゐた市場ミナ工嬢は化学研究所専門科の技術生として卒業した一人である。

シカゴ市 || 東ハツ工夫人は前當所居住者で、長子東ロイ君の

南太平洋に於ける勲功により最近青銅星章を授與された。同夫人は造花製造所に就職中である。

羅府 〓 帰還日京市民のためホステルが羅府にてたつた所に開設された。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 一、西羅府南ビロイド街二一三八 | 監督者 岩永牧師 |
| 二、羅府西三六ブレース一三三六 | エールボウター師 |
| 三、エルモント南ミーカー街三二一 | 横井師 |
| 四、羅府北エバグリーン街五〇六 | エスター・ローズ |
| 五、同東第一街三四二 | 曾我部師、宮原氏 |
| 六、同南ルマンデリー三五〇 | 鹿牧師 |
| 七、アンリントン・ブレース三〇一 | フールド女史、フワンニグ女史 |
| 八、ヴィニース・ブロード・トラウグー二四四八 | バーネット 牧師夫妻 |

夜ホステル料金初めの十日間は一人一日につき金一帛(二食附)十五日後は金一帛五十仙、子供五十仙、就労者金二帛。宿泊のみの人は初めの十日間は一人一日五十仙、十日後七十五仙、就労者金一帛。

沙市 〓 西北部居住當局アウレンセン氏は轉住者の宿泊所に就いてシートル市外に目下政府經營の住宅区が二ヶ所にあり、戦時労働者若しくは軍人の家族でなくとも同宿泊が出来ると発表した。市内の住宅部は戦時労働者若しくは軍人の家族に限ると。カーランド及びレイキワードの二割は帰還轉住者が重要工場に労働する契約の上集合所として居住し其工場に働くやうになつた。昨には市内の住家に入る資格を生ずるやうである。

愛州ハント 〓 政府住宅監督ミラー夫人は八月十四日まで當所に滞在し、沙市政府住宅借入の出願を受附ける事となつてゐる。同夫人は又ポートランドの住宅の規則改正となつたので同様に申請を受附けるやうである。

愛州ハント 〓 副所長ニコル氏は八月九日を以て第廿七回食堂を閉鎖し、同区居住者は第廿八回食堂にて食事されたこと発表した。沙市 〓 木原市松氏は沙市エスラー街とオ十四街原ビルに於て魚店を開設し、日本食料品をも取扱ふ計画を建てゐる。

ポートランド市 〓 以前當所オセバに居住の牧野一家族は聖徒

西沿岸に帰還し得ざる日本人を決定する上の唯一の責任者である事を再確言し、戦争勃発當時は保安の爲に西部から日本人が悉く排除された。之についてWRMには全然権能はない。勿論或者は誤った印象を抱いてゐると強調した。斯く決定する上に本職は陸軍に關する考慮によつてのみ支配されて来た。経済上、社会上或はそれに似寄つた理由の故を以て米国内に於ける個人の運動を制限する合法的権能は誰にも與へられまいと同少将は聲明した。

WRMは日系人の適當なる轉任援助の爲組織されたもので、彼等の帰還に対し干渉する何等の権能はなく又決してそんな権能を行使せんとした事もない。同少将は附言した。

就職口

オハイオ州|| クリーヴランドのWRM地方事務所では年俸一千九百二弗及びオバタイム附でステノ書記を雇ひたし。希望の女子はすぐ轉任事務所に出願用紙に書込まれたしと。

ユネクテカット|| ウェストポート紐育から六十哩の地奥のドクター・パスカル夫妻は日本人夫婦を雇ひたし。月給二百弗より二百五十弗まで。男はガーデンの手入れ、牛一頭の乳搾り、多少の養鶏及び土地五英畝の耕作。女は手輕い料理と家の仕事。二室とサンボート、浴室の設備あり。

オ州|| ポートランド市シェイプター鉄工会社では屑鉄をオキシゲン及アセチリンにて熔解する仕事を提供。日給九弗也。ヒライアー・レストラントでは食事附日給六弗でキッチン掃除人を要す。

ミネソタ州|| ミニアポリス市の某医師の住宅に夫婦者入用。女はクッキング及び一般家事仕事の手傳。男は庭園の手入れ。此二組の仕事、自動車運轉。月給百八十二弗及浴場附二室提供。

コロラド州|| デンヴァー市に於て暖室業者の爲月給百二十弗。庭園業者の爲時給八十仙の仕事口あり。アウルター理髮所も賣物。リース又は二名を雇入れ。此所はコロラド大学へアフロツクで絶好の金儲け機会あり。

オ州|| ポートランド市のハイランド区に住むハリス夫妻は日本人夫婦を求む。女はクッキング及びハリス・ウオーリ。男は土地の手入れ、ヘビーのハウス・ウオーリの手傳ひ。月給は百弗より百廿五弗まで。バス附寢室提供。

ジョーンの政府住宅に入り、至極平和に、何等懸念することなく暮らしてゐると。

聖杯 || 羅府米國市民委員会議長で活動家眞館支配人ウナリアム・ディタール夫人は、日米市民の西部沿岸帰還を支持する強力な決議案を同委員会に通過した由を言明してゐる。

シカゴ市 || 前ヒラ轉住所居住者足田氏は一せの轉住を援助する為シカゴWRA事務所の特別轉住係として雇傭されてゐる。足田氏は本年四十一歳で、WRAに雇傭された一せとして、同氏が最初である。

ベンブリッヂ島 || 日系市民二家族が郷里の當地に帰還した。此本一家はフレチャーマーに、又周地の一家はウチンスローに夫々移着いた。

草野 || ツイヤー長官は、ブランドフォード縣邦家屋局長よりの書信に接したが、右によれば住宅不足の爲家族の分散した場合、或日ホステルの如き場所に一時的に多人数の起居せねばならぬ場合、去還者は現存の住宅を改造する事が許される。

愛州ハント || マクラフリン轉住部長は短期出所又は日帰りバス下所半續の出發前日午後四時迄に行けられればならぬ旨を言明。日月曜の両日に要するバスは前週土曜午前十一時迄に出願されねばならぬ。

ネブラスカ州 || 最近南所を訪問したダンカン中尉の言明によれば、スウ陸軍工廠では今南労働者を募集中で、一家族に五人以上就働すれば毎月一千兩餘の収入があり、目下四人家族で月々八百兩を得てゐるものと。目下募集中の人員の通り

大業取扱人 二百名

時給七十六仙

自動車工 六十名

時給九十五仙

貨物車運轉手 十四名

時給自七十二仙至七十七仙

桑港 ||

アムスト陸軍少将は自ら、西部防衛司令官として、

小生、所長に委任された、W.R.A.追加規則に付き其摘要法の順序を説明す。

追加規則、休暇、病気休、オバタイムの使用法、自分勝手無届の休休んだ場合、且病気の容体に依つて、如何なる方法にて其償金を得るべきかにつき説明す。

◎ 休暇

各従業者は、凡て其原則に従ひ各々の仕事申込書に書名したる其日よりキヤレンダー日に基き、フルタイム並にパートタイム就働者も、一月一日の割合にて休暇を得る特点を有す。此休暇は積立利用し得るも、十二月間以上を超過することを得ず。尚毎月一日の休暇は就職の日より一月後に有効とす。

各従業者の休暇は毎月、月の初めに計録し、アドバンスの休暇日の使用を許さず。但し欠勤者、臨時従業者は休暇を得る特長なし。此新規則適用期日は六月一日(一九四四)よりとす。

(七月一日より一月一日の割合にて受けること)

◎ 時間外労働に對する休み

オバタイムがあつて休みの場合は毎日の働き時間を適用される。然してオバタイムの保有者にて特別の事情の基にその期定の期限以前に使用したき場合は豫め所長に追申込み承認を要す。所長が承認する時は會計課並に人事課に通達するものとす。

オバタイム保有者は積立使用し得るも、オバタイムをした其日より九十日以内に使用するものとす。其適用方法はハンドブック五の、四十二Dの細則に依り検討すること。

オバタイムに對する休日は同收容所内にて他の部門に移譲し得ざるも、W.R.A.の命により他の收容所に轉住者に對しては其オバタイムを移譲することを得。

◎ 休暇及オバタイムの支払法

休暇及オバタイムの保持者は短期間出所以外は出所前に使用するものとなし、永久又は定期出所者及兵役應務者に對しては各保持する未払ひ時間に對し隨時支払ひを行ふ。

◎ 病氣欠勤

臨時従業者以外の各従業者は一年十五日に限り支給され病氣欠勤し得る特点を有す。此欠勤は本人は勿論、其親近者(父母妻子等)病氣の

*自分勝手無届欠勤者を意味す。

為従業員の有護を要する場合も欠勤を許さる。然し欠勤三日以上の場合は医師の証明を要す。

病欠欠勤の特色を使用せざる日数は同一收容所内の他の部門に移譲することを得。

病欠欠勤が其保有する時日を超過する時は、全人の保有する休暇日を使用することを得。

休暇日及病欠支給欠勤日は日曜又祭日は加入せず。

◎ 無 届 欠 勤

各従業員が無届にて六日以上休んだ場合、各部長は無断休みと記入すること、六日以上になつた場合副人事課長に迄通達すること、之は十二日以上を過すことを得ず。無断休は病傷手当を受ける事を得ず。

各自保有の病欠欠勤日は退職前に使用すること。

◎ 病 傷 手 當

各従業員が其保有する病欠欠勤日及休暇日の積立を使用しなほ就働不可能の場合は病欠手当支給を申込む事を得。

右病欠手当申込は醫師の證明書を要す。然して人事課が申込者の保有する病欠欠勤日、休暇日を使用満了の後右の手当支給資格を証明す。病傷手当支給額は申込者現給料の六割にして其期間は九十日以内とす但此日毎に医師の證明書を提出すること。尚不治の怪我した場合に合衆國政府支給の病傷手当を受けること。

◎ 無 給 欠 勤

従業員が假令病欠其他の理由ありとも无届にて欠勤したる時は無給にて無届欠勤と認む。且無届欠勤が五日以上の場合には免職の理由を構成す。

◎ 休 暇 及 欠 勤 申 込 書 式 三三五号

従業員が休暇又は自己の都合により欠勤を要する場合は其就働部主任の承認を得、豫め三三五書式を以て人事課に申込むこと。尚場合に依ては欠勤後就働と同時に第三三五号書式に記入申込を得るも其欠勤の理由が不当の場合无届欠勤又は無給欠勤と認めらる事あるべし。

◎ 三 三 四 号 書 式 欠 勤 者 記 録

第三三四号書式は人事課に於て各従業員の欠勤に関する全記録を保存するものとす。

休暇日は休暇を採る前日分迄を計す。詳細はハレー・スタホードの五参照の事。